

研究所だより

第402号
2019年 6月14日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ でんでん むしむし かたつむり
お前のあたまは どこにある
つのおせ やりおせ あたまおせ ”



『かたつむり』 1911(明治44)年 童謡・唱歌



～アジサイの花が色鮮やかに咲いています！～

暦の上では、実に殻のついた芒(のぎ)のある麦や稲など穂の出る穀物の刈り取りや田植えを始める時期と言われる「芒種」(6日)、入梅(11日)が過ぎました。各地で梅雨入りが発表される中、未だ梅雨入り宣言のない四国地方、そろそろ一雨ほしいところですね。

各学校では、プール開きも終わり水泳の授業が始まっていることでしょうか。これから暑くなってくると川や海へ行く機会が増えてきます。「自分の命は自分で守る」を合い言葉に水難事故防止に努めていただきたいと思います。

☆第1回教育研究所運営審議会開催☆

6月11日(火)第1回教育研究所運営審議会を開催しました。本年度の役員選出並びに事業計画について意見交換を行いました。会長には、嵐 次広さん、副会長には、舛市 司さんが選出されました。よろしくお祈りします。

〔運営審議会委員〕

学識経験者		校長会	教頭会	教諭(小)	教諭(中)	教諭(高)	指導主事	所長	研究所		
嵐	武政	奥谷	舛市	徳弘	小川	南	大藤	田中	亀谷	岡田	勝間

＝本年度の主な事業＝

(1) 教員の資質・指導力の向上の取組

- ① 転入教職員研修会の開催 ② 校内研修会等への支援

(2) 授業力・指導力の向上の取組

- ① 教育推進委託事業：教育研究集会(教研活動)：11部会
② 教育調査研究委託事業：研究協力校・グループ(3校・1グループ)
③ 学力向上検討委員会(連携事業)

(3) 豊かな心と健やかな体の育成の取組

- ① 実態把握のための定期的な学校訪問 ② SSW・SC(アウトリーチ型)との連携
③ 適応指導教室「あすなろ教室」との連携
④ 教育支援コーディネーター「あすなろネットワーク」連絡協議会の開催(5回)

(4) 特別支援教育支援

(5) 情報教育に関する事業

(6) 資料収集に関する事業

(7) 刊行物

- ① 『研究所要覧』の発行 ② 『清水の教育』の発行 ③ 『研究所だより』の発行
④ 社会科副読本『土佐清水市の暮らし』の増刷・配布
⑤ 「中濱万次郎」副読本編成委員会の開催(年6回)・製本

(8) 教育研究所運営審議会(年3回)

(9) 高知県教育研究所連絡協議会(年2回)

2019年度【研究協力校・研究員(グループ)】の紹介

<三崎小学校> 研究主任：畠中 明美

校長：黒岩 壽賀

1. 研究テーマ

『地域との連携・協働』を通して自立する児童の育成

高知県教育振興計画の5つの取り組みの方向性の一つである「地域との連携・協働活動」を推進する為、総合的な学習の時間や社会科等の時間を中心として、地域の方との豊かな出会いを通して地域の方の温かさや自然を再発見し、児童の自立を目指す。

2. 研究の概要

◎目標

- ① 地域の人達との交流や自然の中での体験活動を通じて歴史や課題を理解し、ものの見方や考え方を深める。
- ② 「山・川・海の学習」を通じて地域や文化について学び理解を深める。
- ③ 森林の持つ意義と大切さを学び、これからの環境について考える。
※総合的な学習の時間や社会科の時間を活用し地域の方との連携・協働活動を通して、地域の持つ良さを探求する。また地域の方と豊かな出会いを通して、体験的な活動を行い身近な自然に触れ、自分達にできることを考える。

◎活動計画

- ① 学校行事と連動させ、自然の中で活動を行い「桜浜」の地域としての価値を考え清掃活動を行う。(全学年)
- ② 地域の花作り。【校舎周辺への花植え】(全学年)
- ③ ふるさとの川の恵み体験。【川エビ漁】三崎川の持つ豊かさや自然の生き物に触れ、川を守ろうとする意識を育てる。(高)海・山・川のつながりを学習し、そこで暮らす人々の生活を考える。
- ④ 川清掃【児童・保護者・地域合同5か所】(全学年)
※今ノ山から流れ出す川を大切にすること、誇りを持つことで、そこで生きることへの自尊感情を育てる。また、地域の中での活動を通して地域を愛する心を育み地域の人達との交流を行う。夏休み中の各地区での活動を通して、地域の人々とふれあい、地域の持つ良さを考える。
- ⑤ 海洋館見学(海洋生物 生態を学習)地域の観光施設を見学することで、身近な海に住む生物に関心を持ち、山や川の大切さを理解する。(全学年)
- ⑥ 田植え(米作り体験・収穫・餅つき大会)などの体験活動を通して、山と川のつながり人々の暮らしを考える。(全学年)
- ⑦ 地域学習(全学年)
フィールドワーク・・・地域の工場や施設の見学を行う。
- ⑧ 海浜学習(シュノーケリング・サンゴ生態学習)
山・川・海の循環作用が自然の摂理であることの理解。また、そのつながりが身近な自然を育み、人々の暮らしと深く関わっていることを理解する。(中・高)
- ⑨ 間伐作業(高)

3. その他

- ・ デイサービスや社会福祉事業との関連行事。



＜足摺岬小学校＞－研究主任：山本 眞珠子

校長：岡村 相良

1. 研究テーマ

心豊かに表現できる児童の育成
～NIE 活動を通して～

[新聞]は、様々な語句や文章、写真が掲載されているため、新聞に親しみ、読むことは、より多くの語彙に触れ、情報を伝達する表現方法を学ぶことができる。

そこで、出来事を5W1Hで簡潔にまとめ伝える文章構成やその時の様子が伝わる表現方法を学ばせ、学んだ文章構成や表現方法（技能）を記事や新聞づくりに活かす。そして、日記・作文を書くときは、心豊かに表現する力に育つようにつなげたい。

2. 研究の概要

① 学級での取組

- ・新聞に親しむ活動
- ・新聞記事を活用した授業(各教科)

② 学校全体での取組

- ・「地域を学ぶ」ヤブツバキ再生プロジェクト
- ・高知新聞「読もっか」への記事やイラストの投稿

③ その他の取組

- ・各種コンクールへの応募

3. その他

- ・日記や作文指導



＜幡陽小学校＞－研究主任：深原 有恵

校長：舛市 司

1. 研究テーマ

自ら判断し、主体的に行動できる子どもの育成

本年度も、幡陽小学校は「高知県実践的防災教育推進事業」の指定を受けており、防災学習計画の見直しや防災についての意識調査を行い、避難訓練や、防災の授業研究を通して児童の意識改革や保護者・地域の防災に対する知識や理解を深め、地域ぐるみで防災意識を高めるための取り組みを進めることになっている。このような取り組みを進めていくことで、命を守り、主体的に行動できる子どもの育成を図ることが出来るようになる。

2. 研究の概要

講師招聘（予定）

- 防災教育 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 大木聖子先生
- 防災教育 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 清久博文チーフ

防災教育の取り組み

- (1) 防災教育指導計画の見直し（31年度指導計画の作成、実施、検証）
- (2) 防災教育の取り組み
 - ①防災参観日・防災講演会
 - ②防災運動会



③避難訓練

校外での避難訓練、避難タワーを使う避難訓練、地域を巻き込んだ避難訓練

④避難所運営

⑤防災授業研究

地域との協働的な取り組み

【研究グループ】

＜土佐清水市特別支援教育研究会＞

会長：下ノ加江小学校 宮地 由美

1. 研究テーマ

市内の特別支援学級に在籍する児童・生徒が交流及び共同学習を通して、互いに連携・親睦を図ることで、社会性を身に付けさせ自立への意欲を育てる。

2. 研究の概要

【1学期】

○研修会

→実践交流：5月21日（火）16:00～16:45（場所：清水中学校）

○親子交歓会

→ゲーム交流とえさやり体験：6月28日（金）10:30～15:30（場所：三崎小学校・足摺海洋館）

【2学期】

○研修会→実践交流：9月10日（火）16:00～16:45（場所：清水小学校）

○交流及び共同学習

→野外活動（ゲーム交流とバーベキュー）：11月8日（金）10:30～14:00（場所：幡多青少年の家）

○研修会→実践交流、郡文集「大地」仮綴じ：11月28日（木）16:00～16:45（場所：清水中学校）

○研修会→実践交流：12月12日（木）16:00～16:45（場所：清水中学校）

【3学期】

○交流及び共同学習

→ゲーム交流とカレー作り：1月28日（火）10:30～14:30（場所：社会福祉センター）

○研修会

→今年度の総括、来年度の計画、文集「つばき」の製本
：2月13日（木）15:30～16:45（場所：清水中学校）

3. その他

会長：宮地 由美（下ノ加江小学校）

副会長：岡村 相良（足摺岬小学校）

事務局：佐藤 愛佳（下ノ加江小学校）

会計：事務支援室

監査：黒岩 壽賀（三崎小学校） 岡崎 哲也（清水中学校）

理事：林 晶子（清水中学校）

【活動の役割分担】

①文集「つばき」表紙担当：清水小学校

②幡多郡文集「大地」中表紙担当：清水中学校

③その他の役割分担

* 幡多郡通信「かがやき」原稿担当：清水中学校

* 清水の教育 担当：佐藤 愛佳（下ノ加江小学校）

☆書籍・DVDの紹介☆

☆書籍

- ① 小学英語の授業・レッスンをだれでもカンタンに！
小学英語 絵カードプリント1400 CD-ROMブック (Gakken)
- ② 学校教育・実践ライブラリ Vol.1
「学校の教育目標を考えてみよう 学校目標から学級目標まで」(ぎょうせい)
- ③ 学校教育・実践ライブラリ Vol.2
「評価と指導 全面実施直前・各教科等の取組課題」(ぎょうせい)
- ④ 「新教育課程を活かす能力ベースの授業づくり」(ぎょうせい)

☆DVD (平和教材) (これらのDVDは、市民図書館で貸し出しています)

- ① 「NHKスペシャルカラーでみる太平洋戦争～3年8か月・日本人の記録～」59分

1941年12月8日の開戦から4年にわたって続いた太平洋戦争。4年間にわたる「戦争の時代」を記録した映像を国内外から収集。フルカラーでよみがえった映像には、雪のアリューシャン列島での行軍から、熱帯の島々での激戦、戦時下の日常や庶民の表情、そして、終戦の日の鮮やかな青空、次の時代に向かってたくましく動き出した人々の姿など、この4年間の日本人の歩みが刻まれている。

- ② 「憎しみはこうして激化した～戦争とプロパガンダ～」49分

国民を戦争へと駆り立てるために、国家はどのように映像と情報を操作するのか。太平洋戦争時の極秘資料と映像から、アメリカの「映像プロパガンダ」の原点を解き明かす。

- ③ 「証言記録 兵士たちの戦争」

「沖縄戦 住民を巻き込んだ悲劇 ～山形県・歩兵隊32連隊～」43分

太平洋戦争で、国内最大規模の地上戦の舞台となった沖縄本島では、住民を巻き込んだせいぜい惨な戦いが繰り広げられた。敗北が決定的となった後も、日本軍は戦い続け、さらなる悲劇を生む。無謀な戦闘の継続が多くの住民の命を奪うことになったのだ。第32連隊の元兵士たちの証言から住民を巻き込んで繰り広げられた沖縄戦の実態を描く。

- ④ 「NHKスペシャル デジタルリマスター版 映像の世紀」74分

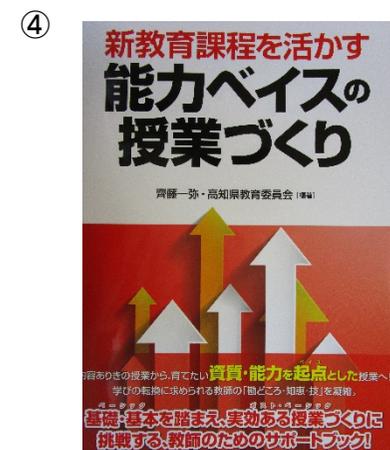
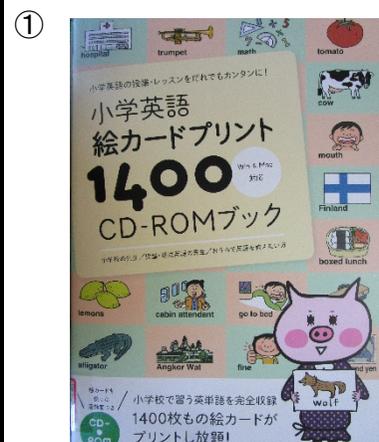
第5集 世界は地獄を見た 無差別爆撃、ホロコースト、そして原爆

第二次世界大戦は、非戦闘員である市民が攻撃された史上最悪の戦争であった。目的のためには手段を選ばず大量殺戮する戦略は、ナチスのユダヤ人虐殺やアメリカの原爆投下という地獄を生み出した。大量破壊兵器による徹底した破壊と殺戮、おびただしい屍、ホロコーストの実態などカメラが記録した衝撃の映像の数々。「人類の反省」の遺産ともいべき映像である。

- ⑤ 「母と暮せば」130分

原爆で壊滅的な被害を受けた長崎を舞台にこの世とあの世の人間が織りなす不思議な物語を映し出す。

〔書籍〕



〔DVD〕

